



## 『経営のマンネリを脱する』

当社は九月決算の会社で、十月一日は新会計年度の始まりです。そこで、十月一日を期に多くの事業の変革を試みました。まず、第一に時代に合わず採算が取れにくくなっている事業、松山市の三つの小規模多機能事業の内二つを廃止し、一つだけ残して介護度の高い重度者の施設としました。二つの施設は有料老人ホームとデイサービスとします。現在、ワンユニットで有料老人ホームと併設されているグループホームが二つあり、それを合体させて二ユニットのグループホームとします。

また、今後の会社の発展の起爆剤となる訪問看護に力点を置き医療特化型施設の第一号を開設します。

さらに、この度の介護保険の改正により、管理者が二箇所の事業を兼務することが可能になったため、魁として二名を選出しました。新年度は、経営のマンネリ化を防ぎ事業の刷新に努めています。



社長の部屋  
今月の言葉  
株式会社 悠遊社

代表取締役社長 寺河 駿



## 「人事制度と制度の運用」



九月一三日に愛媛県総合科学博物館第一研修室において全管理職を招集して「人事制度の概要と精度の運用ルール」に関して説明が行われました。

会社の発展と社員の幸せを一致させることを目的としていることが伝えられました。

続いて「経営形態」として事業本部制管理本部・経理財務本部・事業本部を構成し、事業本部の下に経営形態としてプロジェクト性を導入する等の説明がありました。

そして当日の最も大きな事項として、「等級制度」に関して①等級制度②コース③等級体系④等級毎の役割定義⑤昇格・降格⑥経営職の役割と役職者の役割⑦コース転換の解説があり、続けて「人事評価制度」の対象者・活用範囲・実施時期と「人事評価者」の説明と質疑応答が行われました。



評価を十月から翌年九月の一年間としてスタートする事が伝えられました。

## 「大洲の水害を忘れるな！」

今年度は元旦早々から「令和六年能登半島地震」が発生し、八月八日一六時四二分に愛媛県でも大きな揺れを感じる地震と政府からの「特別な注意の呼びかけ」が行われるなど、災を予見し向き合わなければならぬ状況や、九月下旬には地震からの復興半ばの能登半島を水害が襲うという二重の脅威も現実となつています。

悠遊社では平成三十年七月豪雨で、大洲市新谷の施設の一階部分が水没するという大きな被害を経験しています。幸い人災には至りませんでした。一階にあった居室・事務所・設備が全て沈んでしまい、災害からの復旧にスタッフの労力や費用が多く費やされることになりました。

被害の想定は単一の施設だけではなく複数の施設に及ぶことも想定して、復旧計画を事前に立案する必要があります。悠遊社では専門の委員会を立ち上げて、各施設で行う事、会社で行う事を改めてシミュレーションして、繰り返し社内にも周知するよう活動しています。



## 「製作品 全国紙に紹介される」

デイサービス花へんろ 松山市北条のデイサービス花へんろの利用者様とスタッフが手作りの壁面オブジェが、二年連続で全国紙「レクリエ」（高齢者介護をサポートするレクリエーション情報誌）に紹介されました。



作品は利用者様とスタッフがアイデアを出し合って、手作りしています。施設の中は、掲載された作品の他にも季節の行事や見て楽しめる作品が沢山展示されていますので、機会があればぜひ見に来て下さい。



## 「十月誕生日職員」

福利厚生の一環として正社員 10,000円・パートさん 5,000円の誕生日お祝い金を支給いたします。

- G H あんど テーティンザ
- イトウ / G H エーデルワイ
- スレー / デインフック・ダオ
- マンタン / 有料エーデルワイ
- ス / 岡野 ナオミ・山西 望
- グラヤン / チャルリン カイノマ
- レ / G H くれなゐ井月 悦子
- レイ / ホン / デイこぶしの花
- 池田 歩美 / G H たんぼほ
- 野 裕太 / 有料ひまわり
- 真弓 / 有料よるこび
- や / 小規模ゆうゆう
- 奈々 / 富永 麻琴 / 岡添 莊作
- 紅葉の里 / 有田 圭佑 / G H
- サ / 高住新居浜 / フアム ティ
- オ / デイわつはつ
- 子 / 新居浜居宅 / 堀井 美津子
- う / 新居浜訪問 / 太田 幸子
- 内 / 璃穂 / ショート
- 洲 / 樋田 正司 / 河野 琴美
- G H / よるこび / 大久川 東
- 子 / 島本 美紀 / 大洲訪問
- 山 / 佳子 / サ高ゆうゆう
- 中井 友佳里 / サ高ゆうゆう
- 条 / 丹下 恵里 / 東予訪問
- 智 / 光 / 宇摩木 忍 / ゆうゆう
- 南 / 斎院 / グエン ティ
- H / 市宮野球場前 / チャンピユ
- 田 / フン / サ高ゆうゆう
- 田 / 久美子 / 植田 いづみ
- 条 / 訪問 / 廣瀬 玄徳 / G H 三木
- 田 / 稲澤 登万恵 / G H 優輝
- 子 / 進 / 渡部 理恵 / 山崎 文
- 子 / デイ / 悠 / 福井 剛 / 小ゆう
- ゆう / 立花 / 窪津 敏子



Windows 標準 COPILOT で描いています。



「デイ花ぜん夏祭り」

八月二日、デイサービス花ぜんにて夏祭りを開催しました！



当日ご利用の利用者様や、サ高住に入居されている皆様もご招待し、

職員も合わせると約五〇名の方に参加していただきまして。

☆輪投げ、たこ焼き飛ばし、金魚すくい、射的などを用意してお食事券と交換できるシステムにしました。

お食事は焼きそばが大人気で、すぐに完売！ポテトや揚げたこ焼き、かき氷、余った食事券はお菓子のつかみ取りをし、笑顔でお持ち帰りいただきました。



「スマイル超双六大会」

九月十日（火）、超双六大会行いました。



双六はホールを広く使い、利用者様・職員共に2のチームに分かれて、運動会の様に白熱したゲーム展開になりました。

利用者様が順番にサイコロを振って色々なお題を行って頂きますが、お題は利用者様メインの物・利用者様と職員が協力する物・職員がメインの物の3パターンあり、お題の内容によってはチーム全員で取り組むお題もあります。その他、発声や仮装もあり、たくさん笑顔が見られ刺激を受けて頂いています。職員メインのお題も基本対戦になり勝つと駒を進められるので負けると同じチームの利用者様よりお叱りを受ける事もあります。職員も楽しんでいきます。



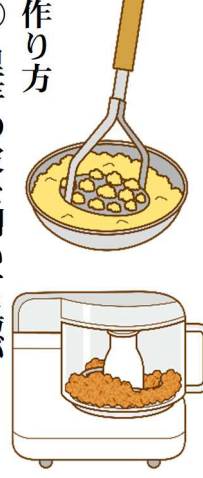
「ゆうゆう的グルメ」

「デイサービス優瑠里釜倉」

『里芋の甘辛あんかけ』

職員の自宅の畑で採れた、旬の里芋を使った素敵な一品をご使用介します。とても簡単なので是非作ってみてください！！

◆材料◆ 里芋300g/生クリーム大さじ2杯/片栗粉/麵つゆ80ml/砂糖大さじ1杯



① 里芋の皮を剥いて湯がく  
② フードプロセッサーまたはマッシャーで湯がいた里芋をペースト状にする  
③ ②の中に生クリームを水っぽくならないように適量入れて再度混ぜる  
④ ③の形を整え片栗粉をまぶす  
⑤ フライパンにやや多めの油を引いて熱し、④を入れて焼く



⑥ 麵つゆと砂糖を好みで混ぜたものを煮たせて、水に溶いた片栗粉を混ぜ入れてとろみをつける（甘辛だれ）  
⑦ ⑤で揚げ焼きしたものに⑥をかけたら完成



ハロウィンパーティーにもおすすめ!!

「ハロウィンを楽しもう」

ハロウィンは、古代ケルト人の祭り「サウイン祭」に起源を持ち、秋の収穫を祝うとともに悪霊を追い払う宗教的な行事でした。これがキリスト教と結びつき、現在のハロウィンとなりました。

一方日本では、ハロウィンはクリスマスに次ぐ大規模なイベントとして定着してきて、例えば毎年問題になっている渋谷や池袋でのコスプレフェスティバルや、TDRやUSJ、大分県のハーモニーランドなど、テーマパークでは特別イベントで盛り上がりがあります。



ハロウィンの楽しみ方は年々多様化していて、子ども会で町内を回ってお菓子をもらったり等いろいろですが、高齢者施設でも画用紙でジャック・オー・ランタンや魔女の折り紙を作ったり、仮想してのカラオケ大会なども行う施設もあります。



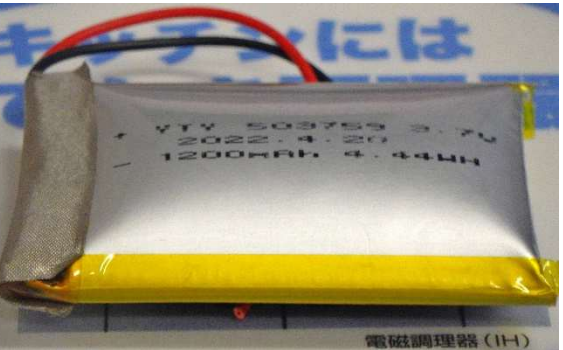
「モバイル機器の充電 要注意」

ITシステム課

悠遊社で使用しているモバイル機器はほとんどがリチウムイオン電池で、電池の種類は二次電池です。いわゆる放電と充電が繰り返される電池なのですが、エネルギーのようなニッケル水素電池との違いは、継ぎ足し充電を繰り返してもメモリー効果を起さないで、残量がある状態で充電しても、充電できる容量には影響を及ぼしません。

ひと昔前のパソコンに使われていたニッケル水素電池は、現在ほとんど使われません。パソコンやモバイル機器の充電機能には、殆どのものに過充電防止機能があるので、フル充電で充電器と接続していても問題ありません。

しかし問題があるのが、アダプター（充電装置）を取り外して長時間使用していると完全に放電してしまい、最悪充電ができなくなる場合があります。また、写真のようにバッテリーが膨らんで大変危険な状態になります。電池だけではなくウインドウズの更新を行っていたり、仕事でエクセルを使っていると更新に失敗して起動できなくなったり、一生懸命入力したデータが消えてなくなることもあります。



充電を忘れて放置されていたモバイル機器から取り出したバッテリーです。

「編集後記」

暑さ寒さも彼岸までと言いますが、秋分の日から格段に過ごしやすくなってきて、夜になると虫の音が聞こえて秋を感じられるようになりました。

さて、ゆうゆう新聞の原稿を落とされる方が増えてきましたので、当番の方は締め切りを忘れないようお願いいたします。毎月一日が締め切りですので、全社共有2の指定した場所に必ず「投稿施設の名前」のフォルダを作って、そのフォルダの中に「原稿」「写真」を入れて下さい。原稿はエクセル等でもかまいませんが、写真はカメラから取り出したままのものをに入れて下さい。エクセルやワードに貼り付けたものは使用できません。掲載スペースの都合でサイズが小さくなったり枚数が減ることがありますが選択肢は多いほうが良いので5枚程度あるとベストです。

さて、秋を感じるとはいえず、まだ暑い日もあり、今年も秋は短いようです。そして今年並みの冬がやって来るそうです。



発行 株式会社悠遊社  
編集 広報担当  
連絡先 愛媛県松山市余戸南 二、二四、三十八  
電話 〇八九九六五一一九九〇  
連絡先 koho@vuyusa.co.jp  
配布 毎月一日(基準日)